

AJ科 宮川 治

キャメルケース

- (アッパー)キャメルケースとは、複合語をひと綴りとして、二つ目以降の要素語の最初を大文字で書き表すこと。複合語の要素数が一つでも下記のルールに従うものとする。
 - 一つ目の要素語の先頭が大文字: アッパー キャメルケース
 - 一つ目の要素語の先頭が小文字:キャメル ケース

命名規約(コーディング規約)1

- 識別子に一貫性を持たせることにより、 可読性を高めることができる。
 - クラス名
 - アッパーキャメルケース:複合語の先頭を、大文字で書き始める。
 - メソッド名
 - キャメルケース:複合語の先頭を、小文字で書き 始める。単にキャメルケースと言えば先頭は小 文字。

命名規約(コーディング規約)2

○ 変数名

■ キャメルケース:複合語の先頭を、小文字で書き 始める。

○ 定数名

スネークケース+大文字:アンダーバー(_)を 区切記号として要素語をつなげる。要素は全て 大文字。

概要

- ファイルからの読み込み
 - テキストデータ
 - 文字コードのデフォルト(初期値)はUTF-8
 - バイトデータ
 - 文字コードを指定してテキストに変換